



講師室井琴鶴先生との集合写真

催予定である。

(社会奉仕委員会 小泉博明)

小学校講談教室に参加して

佐藤美枝子

去る11月18日月曜日に行われた、社会奉仕委員会の主催する古典と歴史をテーマにした小学生(5年生)向けの講談教室に参加してきました。年間10回を目標として現在5回目の講談との事でした。

日本における話芸として講談の紹介と使う道具や話しのながれ、また空想ではない歴史上の人物をテーマとするなど我々の知らない内容もありました。

また講談の読みあわせや実際に壇上で子供たちに講談を演じてもらい、道徳の授業以上の記憶に残る企画と確信しました。

どのように講師になるのか又修行の期間など説明もありこの授業をきっかけに将来が変わる子供もいるかも知れないと期待しました。

後半では、スペシャルゲストとして校長副校長先生の講談の実演があり、最後に真打ちの室井琴鶴さんの講談で締めくくりました。

今回初めて参加して、子供参加がたの講談授業の楽しさと有益性を実感しました。

この講演をとおして、豊島区の歴史と古典文化に興味をもつ子供たちが増える事を期待しながら帰路につきました。

としまこども講談教室に参加して

石塚丈晴

社会奉仕委員会の小泉委員長を中心に企画された「としまこども講談教室」が、今回、第5回として豊島区立豊成小学校5・6年生を対象に開催されましたので、私も参加させていただきました。講談の内容は、子供たちにも理解しやすいように、まず講談という話芸についての説明から始まり、

歴史上の人物を交えながら興味を持っていただけるような展開となりました。続いて、講談の読み合わせや実際に子供たちが壇上に上がって講談を体験するなど、講師の方による一方的なものではなく、子供たち参加型の構成となっており、大変良く練られたプログラムでした。子供たちはもちろん、見ている私も飽きる事のない、大変有意義な時間となりました。

講談では、鬼子母神やとげぬき地蔵と豊島区の話にも触れており、今回の講談教室を機に、子供たちに日本の歴史文化および郷土への興味を持っていただけるきっかけになったかと存じます。

公共イメージ向上委員会(週報委員) 議事録

日時 2024年11月14日 午前11時より
出席者 加古委員長、山本委員、長尾委員、オブザーバー佐藤会長、高木幹事

週報の内容を検討

- 1) 今年度に週報が2ページや3ページなったり、週報の内容不足である。
- 2) その理由は会員からの原稿や、卓話者からのデータが出てこない、などで掲載されるものが不足している。
- 3) 今年度より新しい制作会社に移行して、経費が前年度より倍増(制作費1ページ5000円)してしまい、経費節減のため2、3ページにしている。
- 4) 今後の対策として、会員に週報は情報発信だけでなく、会員相互の情報交換の場であることを知らせ、会員からの積極的な原稿の出稿をお願いする。
- 5) 例えば会員が出張旅行や家族旅行した時の楽しい報告(写真入り)や会員会社の紹介などをお願いする。
- 6) 委員会報告、ホームミーティングなどの報告(写真入り)を義務化する。
- 7) 週報のチェックを正規の週報委員(公共イメージ向上委員)が行い、さらに会員への原稿依頼を委員が働きかける
- 8) より安くできる制作会社を探して経費の削減を行う。
- 9) 以上の対策で週報を内容の濃い、公共イメージ向上のためにも有効なものにする。

以上

Weekly Report

会長:佐藤久雄 幹事:高木義男 RI会長:ステファニーA.アーチック 第2580地区ガバナー:石川彌八郎



本日の例会

11月21日(木)12:30~13:30

卓話 会員卓話
加古博昭会員・細田新子会員

次回の例会

12月5日(木)12:30~13:45

社会奉仕フォーラム
卓話:「未来にはばたけ!

少年少女野球大会 in東京ドーム」

卓話者:澤部利蔵様

紹介者:小泉博明会員

活動報告:「としまこども講談教室」

小泉社会奉仕委員長

11月14日 例会報告

司会 長尾会員
開会点鐘 佐藤会長
ロータリーソング・旅愁
ソングリーダー 山本会員

☆会員総数 33名
☆出席規定適用者数 27名
★本日の出席者総数 23名
★免除者出席数 5名
★本日の出席率 71.85%

☆ゲスト

石井 葉子様 卓話者/元家庭裁判所調査官
有正 百合子様 細田会員ゲスト
植木 佐代様 細田会員ゲスト
梅園 真由美様 細田会員ゲスト
大島 幸子様 細田会員ゲスト
尾形 佐智子様 細田会員ゲスト
小坂部 恵子様 細田会員ゲスト
小島 陽子様 細田会員ゲスト
高野 よう子様 細田会員ゲスト
藤本 篤子様 細田会員ゲスト

【名著を読む】

有吉佐和子『恍惚の人』

有吉には、紀伊国を舞台にした『紀ノ川』『助左衛門四代記』という名作がある。本書は「老い」の課題に着目し、いち早く認知症を取り上げて脚光を浴び、ベストセラーとなった。現在の超高齢社会の日本が直面する諸課題を先取りし、「老い」とは何かについて警鐘を鳴らした。(小泉博明)

西原 和様

細田会員ゲスト

楊 夢様

米山奨学生



会長報告

1. 皆出席 10年 佐藤美枝子会員
2. 11月29日(金)に池袋小学校で行われるこども講談には、としまテレビが入ります。会員の方のご参加をお願いします。
3. 次年度の役員・理事候補がそろいましたので公示いたします。

幹事報告

1. 事務局在宅ワークについてのご報告です。今期より在宅ワークを導入することで事務局との契約更新がされていますが、漸く準備が整い、今週15日(金)から在宅ワーク開始となります。当面、毎週金曜日が在宅勤務となります。電話は、従来通り事務局の番号にかければ、事務員の個人携帯へ自動転送となります。個人の電話ですので、折返しの費用発生が無

い様ご配慮をお願いします。

- 2. 12月の第1例会は年次総会となります。年次総会では、次年度役員理事の選挙と、米山普通寄付の復活につき決議いただきます。



米山奨学生 楊 夢様



皆出席10年
佐藤美枝子会員

11月14日 卓話報告



卓話者石井葉子氏ご経歴

- 日本女子大学附属豊明小学校・中学校・高等学校卒業
- 昭和39(1964)年 早稲田大学第一文学部哲学科教育学専修に入学
(同学年にタモリと吉永小百合さん。クラスは別)
- 昭和43(1968)年 新潟家庭裁判所に家庭裁判所調査官(補)として採用
(当時の所長の市川四郎氏はドラマでは汐見圭さん(ヒョンちゃんの夫)のモデル)
- 昭和47(1972)年 新潟家庭裁判所長に三淵嘉子さんが着任
少年事件の調査・審判で一緒に仕事をする
- 昭和57(1982)年～平成18(2006)年まで
以下の裁判所で家庭裁判所調査官として仕事
東京家裁八王子支部→東京家裁→千葉家裁→調査官研修所(教官)→横浜家裁→仙台家裁→津家裁→東京家裁→名古屋家裁(定年退職)

- 平成18(2006)年～平成28(2016)年
育休代替として、仙台家裁→山形家裁→仙台家裁(東日本大震災を経験)→新潟家裁で、現役調査官と同等の仕事に従事
- 平成28(2016)年～現在
新潟家庭裁判所の参与員、新潟市男女共同参画課「こころの相談室」相談員など

ドラマ「虎に翼」と私の関係

1. 主人公の寅ちゃん……三淵嘉子さん。上記のとおり新潟家裁で出会ってから亡くなるまで教え励ましていただいた。
2. 久藤頼安(ライアン、沢村一樹)さん……内藤頼博さん。研修所のOB会。お蕎麦屋にご一緒したことも。
3. 穂高重親教授……家族法学者穂積重遠。私の実家の遠縁にあたる。
製作スタッフがモデルの親族に挨拶に行く手伝い、立会いも。

卓話：家庭裁判所について
～朝ドラ主人公のモデル
三淵嘉子さんが目指したもの～

卓話者：元家庭裁判所調査官 石井葉子氏

はじめに(家庭裁判所と三淵嘉子さんと私)

- 1 家庭裁判所について
 - 歴史…昭和24(1949)年1月1日誕生 創立75年
家庭に関する問題をすべて扱う裁判所として標語「家庭に光を 少年に愛を」をモットーに全国に設立
 - 仕事…家事事件…家事調停(話し合い)、家事審判(裁判官の決定)
少年事件…14～19歳までの少年の犯罪についての処分を決める
 - 職種…裁判官 書記官 家庭裁判所調査官 事務官
非常勤…裁判所技官(医師・看護師) 家事調停委員 参与員
- 2 少年非行と少年審判
 - 非行の内容…窃盗(貧困からの盗み・ゲームとしての万引き・自転車盗など)
粗暴非行(暴行・恐喝・傷害)
(校内暴力、対教師暴力、おやじ狩り)
 - 毒物非行(シンナー、大麻、覚せい剤など)
 - 交通事案(交通違反、交通事故、集団暴走行為など)
 - 詐欺(特殊詐欺、受け子、出し子、見張りなど)

- 凶悪非行(放火・殺人・強盗・性犯罪など)
- 処分内容…検察官送致・少年院送致・保護観察・不処分・審判不開始
※試験観察(中間措置)
- 少年たちの実像…社会性の未熟さ 人間関係の希薄さ 自己肯定感の低さ
- 3 少年法の基本理念(三淵嘉子さんほか創設者がめざしたもの)
 - ・パレンス・パトリエ(国親思想……弱きものの救済・保護・教育は国家の責務)
 - ・処分より保護育成を
- 4 厳罰化の問題
 - 厳罰化とは…少年法適用年齢の引き下げ・処分内容の厳格化
 - 厳罰化で少年犯罪は防げない…徹底した個別処遇を
- 5 少年の立ち直りを支援する場所・人・時間
…補導委託先・少年友の会

ニコニコ

有正様 植木様 梅園様 大島様 尾形様
小坂部様 小島様 高野様 藤本様 西原様
ニコニコ致します。

佐藤(美)会員 皆出席のお祝いありがとうございました。

小代会員 「ロータリーの友」誌11月号の裏表紙の裏に掲載された、小泉会員のお写真がとても良いので、当クラブの新入会員へのパンフレット等に使用したらよいのでは!?

本日の合計額：14,000円
今年度ニコニコ累計額：202,000円
今年度指定ニコニコ累計額：11,000円

秋のホームミーティング (親睦委員会+SAA)

11月14日7時より親睦委員会とSAAの合同ホームミーティングが目白のフレンチ『ムジカ』で開催されました。出席者は親睦委員会から石塚副委員長はじめ森川、佐藤美枝子、宮部各委員、SAAから鈴木SAA、長尾、そしてゲストとして浅原、中川、榊原、高木各会員の合計10名でした。今回のホームミーティングのテーマは『ニコニコボックス』についての会員皆様の考え方を自由に話してもらうことで、その内容を報告いたします。まず新クラブになってからニコニコへの献金が少し減ってきていることは、両クラブの会員に共



通の認識で、もう少し活性化する方法についてが語られました。

活性化する方法としては、例会にて会長や親睦委員長が率先してニコニコの意義を伝えること、また新入会員にも入会時にニコニコへの寄付の意義を説明する必要がある。

また金額についてはロースターに『ニコニコボックスの申し合わせ』を全会員に折に触れて徹底しておくことも重要であるとのことでした。

またニコニコとは別に国内外で大きな災害があったときは、例会でそれぞれの会員が被災地への気持ちを添える意味で寄付ボックスを回して集める方が良いとの意見も出ました。

ミーティングの後半は、丹波で捕れたイノシシのジビエ料理と鈴木会員の提供された赤ワインなどで、皆さん酔いもまわり楽しい2時間半もアツと言うまの親睦会でした。 文責 長尾

社会奉仕委員会報告

第2580地区 ロータリー財団地区補助金プロジェクト報告 (第5回)

令和6年11月18日(月)、豊島区立豊成小学校(山本友範校長)にて、3、4時間目(10:40～12:15)に第5回「としまこども講談教室」を開催した。当日は5年生75名が体育館に集合し、宝井琴鶴の「道徳科」の授業(90分)を受講した。

授業は、「見て聴いて体験しよう!日本の伝統話芸 講談」というテーマである。授業の内容は、前回とほぼ同様であるが、回を重ねるごとにこどもの発達段階を考慮し、琴鶴と弟子の小琴、琴人との連携も良くバージョンアップしている。休憩時間になり、釈台に座り張扇を叩く体験ではこどもが長蛇の列になる。この授業を契機に、特に外国籍のこどもが日本の話芸に興味、関心を持つことを期待する。

次は、11月29日(金)に豊島区立池袋小学校で開